**令和6年期（2024）南連協子供部会＃3　議事メモ**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事務局　村田　記

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2024-12-25

日　時：令和6（2024）年12月13（火）　10：00から12：00まで

場　所：ユニコム相模原（相模大野ボーノ3F）実習室

出席者：計17名（会員14、教育委員会　原様、坂本会長、事務局　村田

（参加者名簿は別添）

**＜論議結果＞**

# 　　**要約**

# 会議では、保護者向け説明会の振り返りと今後の課題について議論しました。参加者数は46名（昨年44名）で、9割近くが説明会の内容に満足したとの報告がありました。事業所の特色や選択のポイントについての説明が好評でした。また、スライドやパワーポイントを活用した説明方法が効果的であったことが確認されました。飯島さんの退任に伴う今後の運営体制や、学校との連携における課題、特に学級閉鎖の情報連絡、送迎時の駐車場問題について詳しい議論が行われました。さらに、支援学校のスクールバス利用に関する陳情書の提出や、事業所の実地指導の対応についても具体的な論議がなされました。

**1：保護者向け説明会の実施報告と評価**

＊参加者46名、満足度9割という結果が報告され、事業所の特色説明や選択ポイントの解説が好評であったことが共有されました。特にパワーポイントが好評でした。今回のアンケートでは好評だった事業所名も記載されていますので、次年度の参考にされてください。

＊市との打ち合わせでは、来年も同様の日程、サブルームも確保、プレゼン用のプロジェクターも準備することを決めました。

＊合同説明会の最後の事業所毎の説明対応について、合同説明会を一旦閉めたところで、どこが残るかアナウンスし（含む12時まで）たらお母さんにわかりやすい。どこが残るかは当日の出欠の時に確認できる。

**2：説明会の運営体制（子ども部会の体制）に関する課題**

＊坂本会長から、ご自身の体調がかなりすぐれなくなってきたので、会員の皆さんに後を託すような体制にしていきたいとの表明がありました。また飯島さんの退任に伴う資料作成や運営体制の引継ぎについて議論し、今後の役割分担と協力体制について検討されました。飯島さんが副会長兼事務局としてパンフレットの封入等多大な労力を担って負担が大きかったことから、来年度は各部会毎に部会長、副部会長、事務局の三名体制としたい旨、また作業の負担がかかるところは大人部会の事業所に発注するとかいろいろな案を考えていきたいと坂本会長から説明がありました。また、パンフレットの締め切りに遅れる事業所があってその差し替えを自宅でする等、人知れずに苦労されていたとのこと、こういう作業を皆で集まってするとかすると作業も助かるし、締め切りに対する協力関係も変わるし、いろいろできることがあると思うので、そういう風にして副部会長と事務局の負担を下げて、多くの方が担当してみようと思えるようにしていきたいとの話がありました。坂本の体調から南連協がなくなることがあっても、この合同説明会だけはニーズがはっきりしていて、中央区、緑区の先を走っているので、なんとか残していきたい。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　この為、引き継ぎの為に原田さんが説明会の運営に関する具体的なタイムスケジュールとタスクをまとめることにしました。

＊南区の相談事業が大変厳しい状況になってきた。アウルやパレットが事業をやめるとの話があり、パレット、パレット大和でも500人規模が対応できなくなる。これを受け止める社会資源が必要になるわけで、このこども部会の相談･リファーのパートで皆が課題を持ち込んで相談し合えるというのはより重要になるので、この意味からも、こども部会を継続できるような体制にしょいていきたい。

**3：最近の話題共有、相談等**

**＊学校との連携における課題　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　1：学級閉鎖の情報連絡が欲しい**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　インフルエンザや大雪等で学校･学級閉鎖があると朝から急な対応をとらないといけなくなる場合や保護者の方から連絡がなく、学校にお迎えに行って無駄足になったとかあるので是非とも学校から保護者の方に連絡する際に同様に事業所に連絡して欲しいとの論議を昨年の春の振り返りで出ていたので、本日傍聴参加の教育委員会の原様に検討をお願いした。他の市ではLINEで保護者の方と同時に流れてきて助かった。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　個人個人の情報への対応は難しいが、学校閉鎖等の公的情報なら対応できる可能性があるので、持ち帰って検討いただけることになりました。

**2：学校へお迎え時の駐車スペース**　……　以前も学校と協議して配慮いただいていた南大野小が最近駐車禁止とされてまったので、なんとかならないか？　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　この類いの課題は近隣住民の方のご意見等地域毎で異なるので、各校長が対応している為、南大野小と相談願いたいとのこと。

**3：下校時間について**　……　学校によって予定時間より15分～20分前もって出てくるところがあったり、（駐車時間を制限されている状況なので）、予定時間を守る等なんとかできないか？授業が終わる時間なのか、出口に出てくる時間なのか統一できないかと思う。　一般のスポーツクラブの送迎と支援が必要なお子さんのお迎えに来ている放課後等デイサービスを同じ扱いにされているのでなんとかならないか？　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　……学校が特定されている場合には、同業の事業所が合同で要望書を窓口の先生に提出する、必要ならば南連協名を使うことも検討してはどうか？（南連協）

……（原様）こういう場で出たいろいろな課題を整理して、学校長の会議に提出して、伝えていっている。ただし、あくまで学校長の判断になるのでご理解を。

**＊おとな部会の「成人事業サービス合同説明会」の紹介とご協力のお願い　　　　……**（資料添付）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11月1日におとな部会主催で「人生の岐路に立つご本人とご家族の為に、未来の選択肢にどのようなことがあるのかを地域の社会資源である社会福祉事業者が説明し、不安や疑問を少しでも解消する」との趣旨を掲げてごく限られた対象に実施しました。　通常の事業種類の説明だけでなく、ご利用者目線の柔らかいバージョン（横内おとな部会長作成）とそれに続き実際にその事業をされている個々の南連協メンバーが説明しています。大変好評だったので、もっと対象を広げて本格的に6月に開催しようと思っています。

支援学校にもパンフレットを置かせていただこうと思っていますので、こども部会の方々にも学校に掲示する等お願いしたいと思っています。

声をかける対象について、このこども部会メンバーからは中学1年からがよいとの意見が多くありました。さらに、中学に入学してから親御さんがお子さんの障害について現実に直面して急に将来のことを知りたくなる方々が多いので、むしろ小5ぐらいから情報に触れることができるとよいとのこと。

あまり、年齢制限をしない方がよいかもしれないので、大人部会で今日の論議を紹介して決めていきたい。

11月に実施したときに、なぜ土曜又は日曜にしてくれないのかとの反響が強かったので、次回の6月には土曜又は日曜にし、さらに楽しいイベント（テントで事業所の自主制作物やお菓子の展示＆販売等）を併設したいと考えているので、次回のこども部会で広報活動等お願いすることになるのでよろしくお願いします。

**＊「アンガーマネージメント研修」　のご紹介と参加の奨励　　　　　　　　　　　　　　　　……**（資料添付）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　おとな部会のまるさき福祉会の理事長の中館さんが講師の資格をお持ちとの事で、この度、ボランティアで講座を開いてくださる事になりました（3月15日（土曜日）ユニコム相模原セミナールーム1）。　講師招聘の金額がとても高くて、今まで実現できなかった念願の講座ですので、各事業所一人といわずできるだけ多くの方々に参加をおねがいします（職員、ご家族等々）。　　　　　　　南連協の中心においている“虐待防止”　にとってとても重要なものですし、その場に参加しないと意味がないものですので、この機会に是非とも多くの方々に参加をお願いします。　別途、専用のリーフレットで参加募集をしますので、よろしくお願いします。

＜原様（教育委員会）の参加は時間の御都合でここまで＞　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　……　　今回初めての参加でしたが今後連携をとりながら情報共有させていただきますので子供たちの為に、一緒に支援のほうを考えたいとのお話しがありました。また、中央区でも南連協のようなものが新発足されるとのことで、そちらにも参加されるとのこと。

**＊支援学校スクールバス利用に関する陳情**高校生のスクールバス利用に関する陳情書の提出について“すとるく（なたなえる）”の田嶋さんから提案があり、議論した結果、南連協内でアンケートをとり、過半数の方の同意を得れば、南連協の名前で陳情する事になりました。事務局の村田より、陳情書の原案とアンケートを配信し25日をめどに集約することにしました。　　　内容は**「特別支援学校高等部のスクールバスが乗車制限されていることの改善要望」です。**

**＊相談支援事業所の閉所（アウル、パレット）の影響について**……　500人規模が対応できなくなる。南区には受け皿がないので、通所の事業所が相談にのるケースが増えると思うので、その時に、三、四ヶ月に一回の子供部会で情報交換や相談し合うというのがよいと思う。加算にあげられる可能性もある。本来あるべき姿は、老人対象のケアマネージャーの仕事をすることが質の高い相談支援だと思うが、今の報酬体系では最大2万円/年/人なので通り一遍の仕事しかできないと割り切って対応しているとの意見がありました。

**＊実地指導への対応について　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　…**実地指導の具体的な対応方法や必要な書類について、各事業所の経験を共有しました。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　例：･指導時刻を午前の就業時間中にリクエストした。　･　チェックが入る主なものは、マニュアル系、出勤簿、職員数、利用者数、委員会の議事録等　　･同席しなかった。　等々

**TO DO LIST**

1. 原田さんが説明会の運営に関する具体的なタイムスケジュールとタスクをまとめる
2. 村田が陳情書の賛否可否のアンケートを作成し、メンバーに配布する
3. 各事業所は陳情書への賛同可否を年内（25日を目処）に返答する
4. 3月の子供部会で次期会長・副会長・事務局の選出を行う

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上